



令和2年度末 八木山小学校 子供の姿

～令和3年度 教育プランの作成に向けて～

学校教育目標 **志を持ち 心豊かに たくましく生きる児童の育成**

令和2年度 八木山小学校教育目標【重点目標】

【心の教育の充実】	【健やかな体の育成】	【確かな学力の育成】	【防災対応力の育成】
<ul style="list-style-type: none"> ◇互いに認め合う学級集団をつくり、自己肯定感・自己有用感を高める。 ◇道徳教育を核とし心の教育の充実を図る。 ◇他者とのかかわり合いを大切にし、共によりよく生きようとする心と態度を養う。 ◇全教育活動を通して、善悪を判断する力、規範意識の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇体力向上を目指した運動の日常化 ◇望ましい食習慣を身に付ける食育の推進 ◇健康への関心を高め、望ましい生活習慣の定着化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◇基本的な学習規律・学習習慣の確立 ◇分かる授業・魅力ある授業づくりを通して学習意欲の向上を図る。 ◇学習内容の確実な定着を図るための繰り返し学習、知識・技能を活用する学習指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◇自助・共助の力を育む防災教育の推進 ◇判断力を身に付け、自分の命を守る指導の工夫 ◇防災教育全体計画と年間指導計画の作成 ◇地域と連携した総合防災訓練の実施

令和2年度末 八木山小学校児童の主な姿

- ・ 友達の良さを見付け、感謝の言葉を述べたり、学級内で共有したりする姿
- ・ 係活動等、グループ活動で力を合わせ協働する姿
- ・ 困ったり悩んだりしている友達に声を掛ける姿
- ・ 学級で声を掛け合って、休み時間に外遊びをする姿
- ・ 感染症対策（手洗い・マスク着用・喚起等）にしっかり取り組む姿
- ・ 学習に見通しを持ち、授業に臨む姿
- ・ 人の考えや意見をしっかり聞いたり、自分の考えや思いを伝えようとしたりする姿
- ・ 自分で課題を見付け、進んで学習に取り組む姿
- ・ 日頃から安全に気を付けて生活しようとする姿

※今後、各学年から発出する「学年だより」もご参照ください

協働型学校評価の目標 **～自分に花丸！・みんなに花丸！～**

【思いやりや感謝の気持ちを持って関わり合う児童の育成】

1年目の重点目標 【明るくあいさつ！はっきり返事！】～いつでも・どこでも・一人でも～

令和2年度学校評価【児童・保護者・地域・職員アンケート】集計結果

※ 評価は、「A：よくあてはまる，B：概ねあてはまる，C：あまりあてはまらない，D：あてはまらない」の4段階

アンケート実施期間（回答数）

児童（1～6年）：令和2年12月18日～23日（513）

保護者・地域：令和2年12月18日～25日（509）

職員：令和2年12月18日～23日（36）

※表中の数値は、評価A+Bの割合（%）。ただし、No.10,12を除く。

※「保護者」への質問は「お子さんはいかが」、「地域」「職員」への質問は「本校の児童はどうか」ときいている。
（No.6・25・29を除く）

心の教育の充実

	質問項目	児 童						保護者	地域	職員
		1年	2年	3年	4年	5年	6年			
1	自分には、よいところがあると思う。	86	97	87	89	76	72	89	94	85
2	学級では、自分のよいところを認めてもらっていると思う。（5・6年）	—	—	—	—	71	63	—	—	—
3	人が困っているときは、進んで助けている。	96	88	84	84	87	85	87	89	85
4	いじめは、どんな理由があっても、いけないことだと思う。	97	98	95	95	93	97	97	84	88

肯定率がほぼ80%を超える結果となりました。自己肯定感についての項目では、高学年になるにつれ数値が下がっていますが、保護者や地域の方々が子供たちの良さを認め、しっかり支えていることがアンケート結果から分かりました。

健やかな体の育成

	質問項目	児 童						保護者	地域	職員
		1年	2年	3年	4年	5年	6年			
5	休み時間や放課後、休みの日など、外で遊んでいる。	84	89	78	82	68	55	64	61	97
6	子供たちが外で遊ぶよう声を掛けたり、一緒に遊んだりしている。（職員）	—	—	—	—	—	—	—	—	72
7	朝食を食べずに登校する日がある。 （「朝食を食べて登校する」割合で表記） →	95	91	97	91	91	94	95	90	92
8	朝食は、主食（ごはんやパン）の他におかずを食べている。	75	79	71	77	81	77	—	—	—
9	ふだん（月ようから金よう日）朝7時前に起きる。（1～4年）	79	81	78	79	—	—	—	—	—
10	ふだん（月から金曜）睡眠時間はどれくらいか。 5時間未満	—	—	—	—	1	5			
	5～6時間未満	—	—	—	—	2	5			
	6～7時間未満	—	—	—	—	11	11			
	7～8時間未満	—	—	—	—	17	22			
	8～9時間未満	—	—	—	—	44	32			
	9時間以上	—	—	—	—	19	22			
11	休みの日は、朝7時前に起きる。（1～4年）	63	60	61	57	—	—			
12	土曜や日曜など、学校が休みの日の睡眠時間はどれくらいか。（5・6年） 5時間未満	—	—	—	—	7	1			
	5～6時間未満	—	—	—	—	3	14			
	6～7時間未満	—	—	—	—	4	1			
	7～8時間未満	—	—	—	—	13	6			
	8～9時間未満	—	—	—	—	18	30			
	9時間以上	—	—	—	—	49	43			
13	ふだん（月曜から金曜日）夜10時前に寝ている。（1～4年）	86	75	70	73	—	—			
14	休みの日は、夜10時前に寝ている。（1～4年）	70	69	68	57	—	—			
15	本校の児童は、十分な睡眠時間を取っている。 （保護者・地域・職員）	—	—	—	—	—	—	85	83	74

高学年における「運動の日常化」の肯定率が70%未満でした。校舎改修工事やコロナ禍での生活等も影響していると思われます。朝食を毎日しっかり食べて登校する児童は、全ての学年で90%を超えています。早寝早起きをし、毎日9時間以上の十分な睡眠をとっている児童の割合が低くなっており、引き続き家庭と協働で子供たちのよりよい生活習慣の定着に取り組んでいく必要があります。

確かな学力の育成

	質問項目	児童						保護者	地域	職員
		1年	2年	3年	4年	5年	6年			
16	勉強をとおして、新しいことが分かるようになるのは、楽しい。	94	97	87	84	83	84	—	—	—
17	自分自身の力で、何とかして答えを見付けたいと思う。	95	96	92	93	91	89	—	—	—
18	なぜだろう？と、疑問や不思議に感じるがよくある。	84	77	87	76	88	83	—	—	—
19	児童は、学習習慣が身に付いている。 (保護者・地域・職員)	—	—	—	—	—	—	77	94	85
20	児童は、学習意欲が向上している。 (保護者・地域・職員)	—	—	—	—	—	—	70	89	86
21	難しいことでも、失敗をおそれないでチャレンジしている。	96	89	77	72	75	63	60	73	69

学習への意欲について全学年で80%以上の肯定率でした。子供たちは目標をもって、主体的に学習していることが分かります。しかし、「難しいことでも失敗を恐れないでチャレンジすること」については、学年が上がるにつれて肯定率が低く、保護者や地域の評価も60～70%程度と低い結果となりました。本年度は、学校行事等が少なくなるなど、様々なことに挑戦する機会が減ったことが影響しているものと思われます。

防災対応力の育成

	質問項目	児童						保護者	地域	職員
		1年	2年	3年	4年	5年	6年			
22	いつも安全に気を付けて生活している。	94	92	90	93	95	93	—	—	—
23	災害のときに、自分や周りの人の命を守るためにどうしたらいいか知っている。	80	84	76	87	95	93	—	—	—
24	児童は、自助・共助の意識が育っている。 (保護者・地域・職員)	—	—	—	—	—	—	81	95	85

日頃から安全に気を付けて生活していることが、児童の90%以上の肯定率からも分かりました。本年度は、コロナ対策に加え校舎改修工事も重なりましたが、避難経路も含め、災害時の対応について折に触れ、指導・確認してきました。

協働型学校評価

	質問項目	児童						保護者	地域	職員
		1年	2年	3年	4年	5年	6年			
25	子供に明るい挨拶やはっきりした返事をするよう働き掛けている。(保護者・職員)	—	—	—	—	—	—	92	—	91
26	地域の中で、知っている人に会ったときは、挨拶をしている。	96	93	85	91	88	88	78	78	—
27	学校で明るい挨拶をしている。	94	89	84	86	79	76	—	—	74
28	返事は、はっきり行っている。	92	92	88	84	87	84	72	78	68
29	子供に挨拶をしている。(保護者・地域・職員)	—	—	—	—	—	—	80	100	91

協働型学校評価の目標である「～自分に花丸！みんなに花丸【思いやりや感謝の気持ちを持って関わり合う児童の育成】」の重点目標である「挨拶」と「返事」については、概ね良好な結果となりました。次年度に向けて、更に学年の発達段階に応じた具体的な行動目標を設定し取り組ませていく必要があります。

令和3年度 教育プランの作成に向けて

学校評議員、学校関係者評価委員の皆様からのご意見やご提言

<学校評議員>

山森 義春 様(松が丘町内会長, 本校 PTA 元会長) 尾形 和子 様(八木山地区主任児童委員)
守屋 幸子 様(八木山小学校支援地域本部スーパーバイザー) 小野 博 様(八木山市民センター館長)

<学校関係者評価委員>

渡邊 勝典 様(八木山中学校長) 山口 茂 様(八木山中学校 PTA 会長)
松田 英雄 様(八木山体育振興会長) 伊藤 八十二 様(八木山児童館長)
戸津 健太郎 様(本校 PTA 会長) 山寺 聡子 様(本校 PTA 事務次長)

【令和2年度 教育プランについて】

- ・地域の方に行事等でおうちの方に褒めてあげてと伝えるなど、周囲から自己肯定感を高めるようにしていけるといい。連合町内会の理事会などでアンケートの結果を伝えて、「ほめてあげて」と。
- ・夜更かしについて、睡眠不足は最近どのような傾向なのか。端末一つでずっと遊んでいる子供もいる。小学生のスマホ所有率等、気になるところが多い。
- ・いじめ問題について子供たちは高い意識を持っていることが分かった。
- ・学習発表会では、子供たちの表情がよくなったように感じた。保護者も機会を得て安心できたので、よかった。行事は大切である。
- ・学校から児童館に来るとすぐに宿題をしている姿が見られる。自分のよいところを認めてあげる機会は児童館でもなかなか難しかったが、最近できるようになってきた。挑戦する子が出てきた。一生懸命に取り組んでいる子を見て、上の学年の子が邪魔をしないように周囲に注意する場面があった。
- ・今年度はコロナ禍の影響があり、延期延期が続き、先生方は大変だったと思う。小1サポートをやっていて、このようなものがあるんだと思った。今回、家庭に周知するのはよいこと。消毒作業のとき、「ありがとうございます！」と言ってもらい、うれしかった。自分たちに関わってくれている人のことを考えられるような子供たちが育ってくるといい。
- ・八木山中学校で、安全点検の資料を活用させていただきたい。八木山防災連絡会で、地域の防災に対して、地域の人、学校とのつながりが大切。地域の人に関心を持ってもらえるように、八木山テラスに、ライトアップ用の電球を並べていく計画をしている。夜の避難ということも考えている。

【令和3年度 教育プランの方向性】

- ・協働型重点目標を、グランドデザインの真ん中に持ってきて、とても分かりやすくなった。何を大事にしているかが伝わる。(みんなで育てていこうというのが真ん中にあることで伝わる。)
- ・八木山スタンダードについて、明確に家庭に分かっていただくために配付してもらえたい。地域(児童館)も足並みを揃えられる。
- ・協働型重点目標「自分に花丸！みんなに花丸！」は、すばらしいと思っている。自己肯定感を向上させるもの。スローガンとして、横断幕を掲げるのもいいのではないか。

◎次年度の教育活動に関して、三者協働により次の点を更に充実させたい。

- ・子供たちを褒め、認め、励ますこと
- ・子供たちのよりよい生活習慣確立のために、それぞれの立場から働き掛けること

次年度に向けて、学校評議員や学校関係者評価委員の皆様、さらには保護者や地域の皆様からいただきましたご意見・ご提言を踏まえ、子供のよりよい姿の実現のために、保護者や地域の方々と心をつなげて、教職員一丸となり、力を尽くしてまいります。

なお、令和3年度教育プランにつきましては、来年度4月にお示ししたいと考えております。

令和3年度も、引き続き皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。